

## 花から始まる花はない

作者 不明

今年、年の初めから新型コロナウイルスという病があらわれました。はっきりとした原因もわからないまま、中国では多くの死者をだしてしまいました。今後世界や日本にどのような影響を及ぼすか心配するところでもあります。現代医療は進んでいますから、早く治療薬を完成して、苦しむ人を助けてほしいものです。

さて話は変わりますが、ある布教使さんからのお話、神戸のマンションの管理組合で、そこに住む子どもを持つ父兄から苦情が上がったそうです

それは、「学校では、知らない人から声をかけられても、むやみに返事をしてはいけない」と教えられているのに、このマンションの人は皆知らない人でも声をかけてくるので、子どもながらに困っている」とのこと

一緒に住むマンションの住人として、おはよう、いってらっしゃい、おかえり、いろんな声かけ、いわゆる「挨拶」をしていたということです。それがなんと苦情になってしまうとは、思いもよらない話です。

問題はそれでは終わりません。それを聞いてマンションのご年配者は「挨拶をしても、何の返事もないから気分が悪かった、このマンションでは挨拶はしてはいけないことにしよう」と決まったそうです。その後、「挨拶禁止」と貼られたというお話でした。

「挨拶」の目的は、心を開いて好意があることを示すことです  
集団生活には欠かせないことのように思われます。

ただこのことに、反対する意見ばかりではなく、賛成派もいらっしゃるって聞いて時代の変化を感じるしだいです

「会釈」（えしゃく）という言葉があります。「会釈」とは仏教語で「和会通釈」の略で「会通」ともよびます

本来の意味は、「経典に書かれているさまざまな解釈をわかりやすく解説する」という意味で、それが変化して、「お互いの解釈をつき合わせて納得する」に変わり「お互いが心かよわせる」と変化したそうです

挨拶ができれば、それが1番なのですが、それができない事情ならば、「会釈」をする。軽く頭を下げる。ちょっとした好意をしめす行動で、心が和むということがあります。

マンションに「挨拶禁止」と貼り出して、皆がそっぽを向いてしまうより「皆で会釈をする」という方向で進んでほしいものです。

釋 法英